

体 験 会

LET'S TRY RUGBY!
LET'S ENJOY RUGBY!

ガ イ ド ラ イ ン



JAPAN RUGBY
FOOTBALL UNION



Impact
Be**Y**ond
2019

参加者受付中!!
ピッチ開放!! 15:30~
試合終了後のピッチに足を踏み入れることのできる特別イベント
南北1期ヨシコースを突き当たりへお集まりください

ぜんぜん
怖くなかった!

また来たい!

子どもたちが 「また来たい！」 と言ってくれる時間を。

全国の指導員の皆様へ

初めてラグビーを体験するにあたり、子どもたちや保護者の方の多くが不安や緊張を持っておられるかと思えます。そこで体験に来てくれた方の不安や緊張を少しでも軽減し、楽しい体験の時間にできるよう、日本ラグビーフットボール協会は「体験ガイドライン」を作成致しました。決して、強制ではありませんが、できるだけ多くの子どもたちにラグビーの楽しさを体験してほしいと強く願っております。

みんなが満足できる3つのポイント

1

コンタクトよりもボールを持って走る楽しさを

不安を持ち、体験に来てくれた子どもにいきなり本格的なコンタクトを体験してもらうより、まずはボールを持って走る楽しさを体験してもらうことを提案しております。

2

新しい仲間と出逢える楽しさを

一人でドキドキし、周りを気にしながらやるより、仲間と一緒にプレーできた方がより楽しい時間となります。仲間と一緒に楽しめるプログラムを提案しております。

3

チーム練習の質を落とさず、 体験に来てくれた子どもも楽しめる時間を

チーム練習に影響が出にくく、体験に来てくれた子どもも一緒に楽しめるプログラムを提案しております。
みんなの時間を大切に。

子どもたちに大切な4つの「S」

●SAFE / 子どもたちの安全を

子どもたちの安全を第一に考え、楽しんでもらうことが何より一番大切です。コンタクト経験がない子どもたちへのコンタクト体験は怪我のリスクが高くなる可能性があるため注意が必要です。

●SUSTAINABILITY / 子どもたちがずっと続けられる環境を

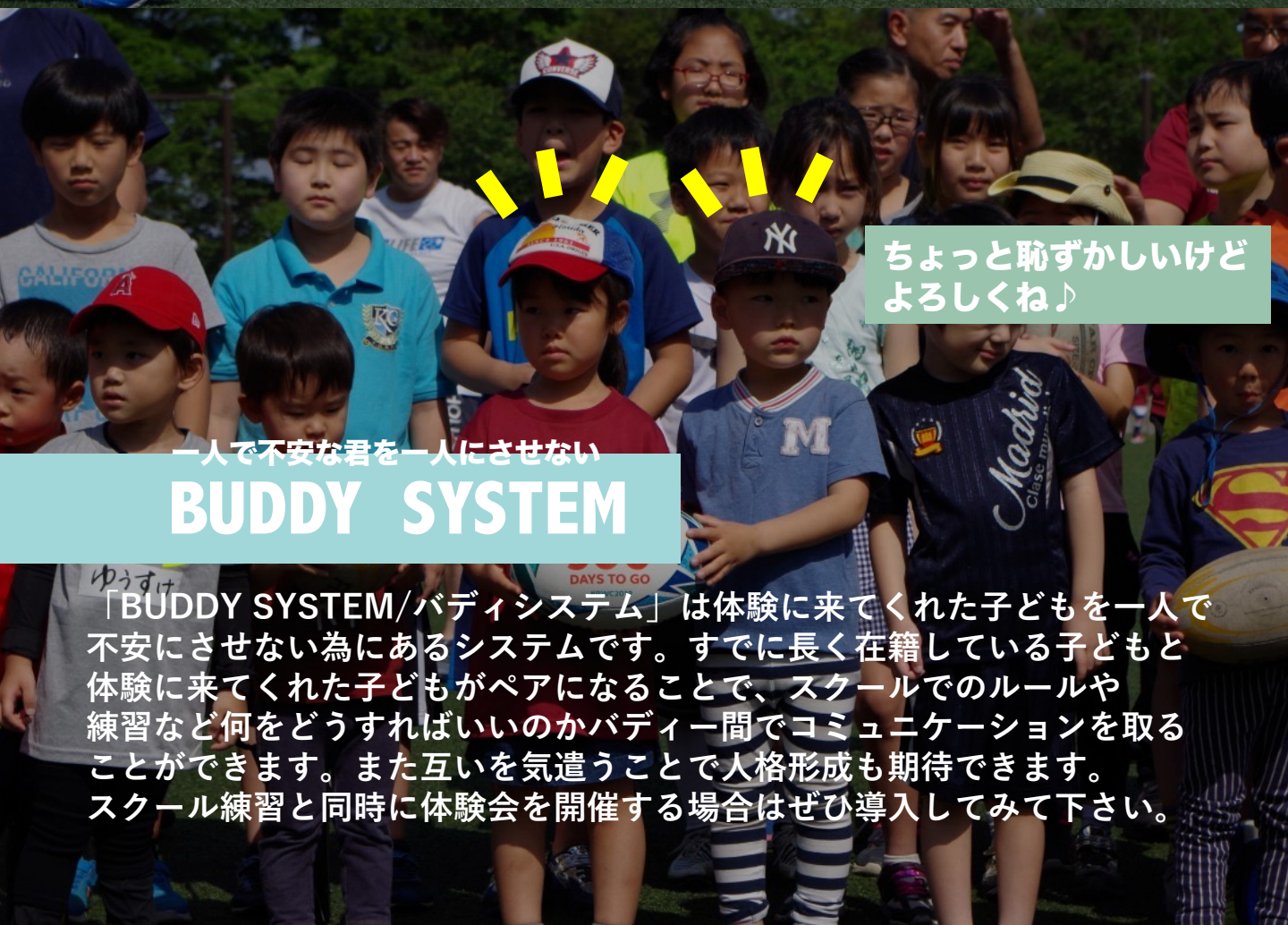
子どもたちがずっと「また来たい!」と思ってくれるような環境を大人が作っていきましょう。誰一人やめさせない、誰一人取り残さないように。

●SUPPORT / 困ったら目線を合わせサポート

大勢の大人に囲まれると子どもたちは萎縮します。できるだけ目線を下げて優しくサポートしてあげましょう。

●SMILE / いつも笑顔を忘れず

子どもたちを楽しませるには、まず大人が笑顔でいることが大切です。無意識に腕を組んで怖い顔にならないよう気をつけましょう。



ちょっと恥ずかしいけど
よろしくね♪

一人で不安な君を一人にさせない

BUDDY SYSTEM

「BUDDY SYSTEM/バディシステム」は体験に来てくれた子どもを一人で不安にさせない為にあるシステムです。すでに長く在籍している子どもと体験に来てくれた子どもがペアになることで、スクールでのルールや練習など何をどうすればいいのかバディー間でコミュニケーションを取ることができます。また互いを気遣うことで人格形成も期待できます。スクール練習と同時に体験会を開催する場合はぜひ導入してみてください。

開催までの全体の流れ

STEP1 開催準備

- 告知
ラグビースクール、都道府県協会、スクール関係者、保護者などのHPやSNSを活用し、1,2ヶ月前くらいから広く告知しましょう。
- 備品
ボールやマーカーは実施するプログラムに合わせて前日までに準備しておきましょう。
- スタッフ
担当スタッフの人数、場所を事前に決めておくスムーズです

STEP2 実施

- 受付
簡易な受付ブースがあるとわかりやすいでしょう。
- 案内、事前説明会
入会案内、当日の流れなどを事前に説明してあげると安心です。
- プログラム準備
・ 進行表
・ ボール
・ マーカー
・ ビブス
など開始10分前までには準備しておきましょう。

STEP3 体験後

- 対応窓口
連絡先を伝え、質問や疑問などに対応できるようにしておきましょう。
- HP、SNSレポート
体験レポートを積極的に発信していきましょう。
- アンケート回答
アンケート回答をお願いします。

告知参考例

いいね! フォローする シェア ...

他4件のコメントを表示

小金井ラグビースクール
4月8日

全国一斉ラグビー体験会を幼児・小学生を対象に行います。事前申込は不要です。見学もOKです。

【日時】4月14日(日) 9:00~11:00
※高学年は11:30まで。
※8時45分にはお集まりください。

【場所】小金井公園ゆりの木広場

【対象】幼児から小学生

【持物】運動できる格好、帽子、水筒、運動靴(固定式のスパイクでも可)

※小学2年まではコンタクト無しのタグラグビーです。
※未経験者大歓迎。特に幼児、小学1年生大募集!

【HP】 <https://koganeirugby.jimdo.com>
【問合せ】 koganeirugby@yahoo.co.jp
<https://www.rugby-japan.jp/news/2019/03/07/49764>

BIG TRY
すべての人を、夢中にできるか。

準備物一覧表



- ボール
- 空気入れ
- ピン
- マーカー
- ビブス
- 救急箱 (氷、氷嚢含む)
- 受付 (机、椅子、入会案内書類)
- ガムテープ (氏名記入用)
- マジックペン (氏名記入用)
- ホイッスル
- 救護用簡易テント
- マイク (音響)
- 会場案内張り紙

※必ず全て用意しなければいけないということではありません。スクールの計画に合わせてご準備下さい。

当日進行イメージ

■ 進行表イメージ

	全体	コーチ	スクール生保護者			
			受付	救護	給水	学年内
9:00	グラウンド準備	学年毎にグラウンド準備	準備	準備	準備	準備
9:30	受付開始	体験会子ども対応	受付	↓	↓	体験会保護者説明 (当日流れ)
10:00	開会式 説明会	全体集合	↓	↓	↓	全体集合
	学年に分かれて実施	担当コーチ中心	↓	↓	↓	
12:00	閉会式	全体集合 入校案内				入校案内 サポート

■ グラウンド配置図イメージ



※あくまでもイメージです。

体験プログラム事例紹介

《ボールタッチ鬼》

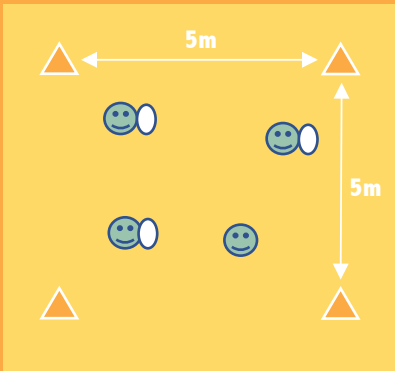
ゲーム



● ボールタッチゲーム

小さいエリアの中で仲間とボールを持って走る楽しさを鬼ごっこ感覚で楽しむことができます。前後左右、色んな動きを遊びの中で習得できます。

説明



- 5メートル四方の中に3～5人セットする。
※人数とスペースは変更可。但し狭い方が敏捷性はアップ！
- 3人がボールキャリア（逃げる人）、1人は鬼。
※ボールの数が足りない場合は鬼がボールを持つ。
- 指導員の笛の合図でスタート。時間は30秒から45秒。
- 鬼が逃げる人をタッチし、タッチされたらボールを渡す。
※タグでも可。
- ボールを持ってラインの外に出てしまったら鬼と交代。
- 最後まで逃げ切った人が勝ち。

子どもたちへのメリット

- 少人数で運動量が確保できる。
- アイスブレイクになる。
- 性別、年齢問わず誰でも楽しめる。
- ボールを持って走る楽しさを体感できる。
- アジリティトレーニングにも繋がる。
- サイドラインや人との空間認識能力向上が期待できる。

体験プログラム事例紹介

《ラン&トライ》

ゲーム



● ラン&トライ

ボールを持って走る楽しさ、敵を抜いていく楽しさを体感できます。

色んな角度からディフェンダーが出てくるので状況判断も大切になります。

説明



- 図に記載している通り、マーカーをセットする。
※スペースは変更可。
- 指導員がディフェンスナンバーをコールし、笛を鳴らす。
例) 1、ピッ! (笛) ※DFは徐々に増やすと楽しい。
番号ではなく、マーカの色でもOK。
- コールされたディフェンスはボールキャリアにタッチ。
※タグでも可。
- 笛が鳴った瞬間、ボールキャリアは敵を交わしトライへ。
- トライを獲るか、タグを確られた時点で次のグループと交代。

子どもたちへのメリット

- ボールを持って走る楽しさを体感できる。
- ボールを持って走るだけなので簡単にチャレンジできる。
- 色んな角度からくるディフェンダーを抜いていく力が身につく。
- 状況に応じたスピードコントロール、アジリティ能力が身につく。
- サイドライン、人との空間認識能力向上が期待できる。
- 性別、年齢問わず誰でも楽しめる。

体験プログラム事例紹介

《ポリス&ロバー》

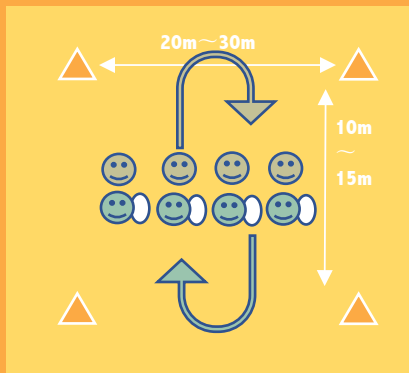
ゲーム



● ポリス&ロバー

ボールを持って走る楽しさ、追いかける楽しさを体感できます。ペアになることで、アイスブレイクにもつながります。個人戦、チーム戦でも幅広く楽しめます。

説明



- 図の様にポリスとロバー（泥棒）に分かれ、真ん中で向かい合う。
- ロバーがボールを持って逃げる人。ポリスは守る人。
- 人数は使用できるスペースを見て決める。
- 笛の合図で自陣のトライラインまで一度走って戻り、ロバーはポリス陣地トライラインまでタッチされずに逃げ込む。ポリスはロバーに逃げられないようにタッチしに行く。
※タグでも可。
- 両側とも戻る際はまっすぐ戻る必要はなく、ライン上であればどこでターンしてもよい。
- ロバーはターン後どこにトライしてもよい。
- ポリスは自分のペアのロバーにしかタッチ（タグ）はできない。
- ロバーはポリスにタッチされずに相手トライラインに逃げ込めたら勝ち。

子どもたちへのメリット

- ペアになることでアイスブレイクになる。
- ボールを持って走る楽しさやトライする楽しさを体感できる。
- スペースを探す力、相手を探す力を身につけられる。
- チーム戦にすると協力し合う力が身につく。
- コミュニケーション能力が高まる。
- 性別、年齢問わず誰でも楽しめる。

体験プログラム事例紹介

《ウォールゲーム》

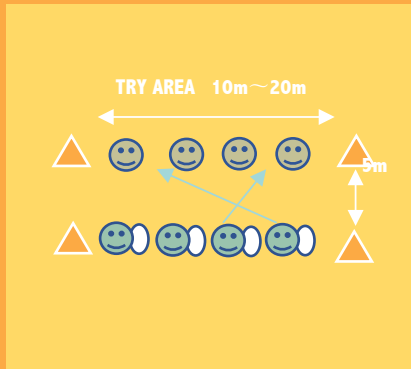
ゲーム



● ウォールゲーム

みんなで壁を作って守るゲームです。防御側は横一列に壁を作り、攻撃側に突破されないように全員で壁を守るゲームです。ボールを持って走る楽しさ、仲間と協力する楽しさを体感できます。

説明



- 図の様に攻撃と防御に分かれ、5m離れて向かい合う。
- 人数は使用できるスペースを見て決める。
※人の間隔は2,3mが最適。
- 指導員の笛の合図でスタート。
- 攻撃側はトライエリアのどこに走ってもOK。
- 防御側にタッチされずにトライエリアまで走れたら1点。
- 得点したらスタート地点まで戻り、リスタート。
※戻る際はコートの外側を必ず通る。
- 防御側が動ける範囲は横移動のみ。前後移動や入れ替わりは不可。
- 攻撃側は防御側にタッチされるとスタートまで戻りリスタート。
- 制限時間は30秒から60秒が最適。

子どもたちへのメリット

- ボールを持って走る楽しさを体感できる
- 仲間とコミュニケーションしながら協力する力が身につく
- 攻撃側はスペースを探す、防御側は相手を探す力が身につけられる
- 性別、年齢問わず誰でも楽しめる
- チーム戦にし、得点をいかに減らせるかを目標にするとチームワークが高まる



JAPAN RUGBY FOOTBALL UNION



■保護者向けガイド

子どもたちをサポートして下さる保護者の方々に、よりラグビーを知って頂くために、コアバリューの紹介や年代別のラグビーの説明などが入ったガイドブックを作成しています。



■ラグナビ

日本全国のラグビースクールの情報が掲載されており、訪れた皆さんが簡単に、近くにあるラグビースクールを検索できるようになっています。